

ドイツメルヒェン街道 と グリム 童話

西洋昔話「赤ずきん」や「シンデレラ」には多くの法的メタファーが秘められています。

灰かぶりが父親に要求する^{はしばみ}様の小枝、赤ずきんの「赤い頭巾」、
それらの意味を読み解きながら、ドイツメルヒェン街道を旅してみませんか。

講師：野口 芳子 さん

（文学博士 武庫川女子大学名誉教授）

第1回 9月18日（木）「赤ずきん」の変遷と解釈

第2回 10月16日（木）「シンデレラ」に秘められた謎

全2回
連続講座

時 間：いずれも 10 時 15 分 ～ 12 時 30 分

場 所：吹田市立中央図書館 4 階 集会室 （午前10時から開場）

定 員：先着 40 名

受講料：無 料

対 象：18 歳以上で 2 回連続の参加が可能な方

申 込：8 月 8 日（金）午前 10 時から吹田市電子申込システムか、
直接来館、電話またはFAXで中央図書館まで。

* 保育：1 歳 10 ヶ月以上、7 人まで。保育実費 2 回 240 円。

* 保育・手話通訳・要約筆記ご希望の場合は、8 月 27 日（水）申込〆切。

* いただいた個人情報は、当企画においてのみ使用いたします。



電子申込はこちら

お問合せ

吹田市立中央図書館

TEL 06-6387-0071 FAX 06-6339-7144

住所 〒564-0072 吹田市出口町18-9

主催：吹田市立中央図書館

共催：吹田子どもの本連絡会



* 阪急吹田（豊津）駅 徒歩 10分

* 阪急バス吹田市立中央図書館下車



講師：野口 芳子 さん

文学博士 武庫川女子大学名誉教授／京都府立大学特別研究員
日本ジェンダー学会理事、日本昔話学会理事、
グリムと民間伝承研究会会長、ドイツ・グリム兄弟協会学術顧問

〔専門分野〕

ヨーロッパ民族文化学・特にグリム童話を中心とするドイツ伝承文学について、民俗学・社会学・文学・歴史学・法学・ジェンダー学などの、多角的視点から学際的に研究。

〔主な著書〕

単著

- ・『グリム童話のメタファー ―固定観念を覆す解釈―』勁草書房 2016年
- ・『卒論を楽しもう―グリム童話で書く人文科学系卒論―』
武庫川女子大学出版部 2012年
- ・『グリム童話と魔女―魔女裁判とジェンダーの視点から―』勁草書房 2002年

共著

- ・「YouTube で受容される『赤ずきん』」
（『グリム・メディア・対話 ―変容し活用されるドイツの民間伝承―』所収）
野口芳子編 一般社団法人日本独文学会 2022年

共訳

- ・『魔女にされた女性たち』イングリット・アーレント＝シュルテ／著，
野口芳子／小山真理子 共訳 勁草書房 2003年

その他著書・翻訳・研究論文等多数。

講師の研究活動や講演記録の詳細は、下記リンクから御覧いただけます。

『野口芳子のホームページ』 URL : <https://noguchiy.jp/index.html>

